

TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB

✚ 卓話 「日本の文化伝承は

『おばあちゃんのタンスの抽斗』

東京藝術大学大学院教授
篠内佐斗司 様



【プロフィール】

1953年、大阪生まれ。彫刻家、東京藝術大学大学院教授（文化財保存学）。東京藝術大学美術学部彫刻科卒業、同大学大学院美術研究科修了。同大学保存修復技術研究室にて仏像修復に携わったのち、2004年より現職。平城遷都1300年祭公式キャラクター「せんとかん」を発表したほか、NHKテレビ「趣味Do楽」の講師をつとめた。『仏像礼讃』（ビジュアルだいわ文庫）、『ほとけさまの図鑑』（小学館）など著作多数。

* * * * *

• 日本は「おばあちゃんのタンスの引き出し文化」だというのが、私の持論です。祖母の家のタンスの引き出しには、到来物の包装紙や荷造り紐、リボン、輪ゴムなどが、使うか使わないかに関係なく、きちんと整理されてぎっしりと詰まっています。昔の日本人は、ほんとうに物を捨てずに大切に保存し活用してきました。このことは、現代の日本に直結する二千年前からの文化についても、同じことがいえる気がします。島国である日本列島には、時間差をもってさまざまな文化が流れ着いています。紀元前には、高床式の建物や鳥居のルーツが東南アジアやポリネシアから島国に流れ着いたと思われます。そして中国大陸南部の発酵食品の文化は、日本列島の太平洋沿岸に点々と残っています。また日本海側には、朝鮮半島や沿海州の文化が、そして三〜四世紀には中国本土から、ひとと文化がわが国へやってきました。その後も断続的に、さまざまな文化とひとびとが渡来してきており、その名残をあちらこちらで見えます。邪馬台国の卑弥呼が活躍していた頃、中国では三国時代（三世紀）でした。黄河流域の魏、内陸部の蜀、そして揚子江流域の呉が鼎立していた時代です。呉王朝が滅亡し、この地域にたくさんの王朝が割拠する「六朝時代」になっても、このあたりの文化を「呉の文化圏」とみなしていたのではないのでしょうか。そして七世紀以後、黄河流域の文化が滔々と流れ込んでくる時代になっても、日本人の「おばあちゃんのタンスの引き出し」には、揚子江流域の呉の文化が捨て去られることなくきちんと保管され、現代まで伝わっているのです。薄い布を前合わせでゆったりと着る、風通しのよい絹製の衣装を「呉服」といいますが、もちろん和服のルーツです。

• 「日本」は「にほん」か「にっぽん」か？「日」が語頭に来る場合、「にち」と発音するのは呉音で、漢音では「じつ」と発音します。飛鳥時代などは、「日本」を呉音で「にほん、にふおん、にちふおん」などと発音していたと考えられます。その後、政治用語は遣唐使がもたらした漢音を用いて、「じっぽん」とも発音するようになったのでしょう。それが、中国人を通じてヨーロッパに紹介されて、「Zipang」「Japan」と訳されたようです。それにしても、「にほん」か「にっぽん」か、わが国号がまだ統一されないのが、いかにも日本らしいところですね。一般に、「関西」は「かんさい」と発音します。「西大寺」「西方浄土」「西行法師」のように西を「さい」と発音するのは呉音です。「西域」「西洋」「西暦」の「せい」は、漢音です。キリスト教系の「関西学院大学」は、「かんさい」という仏教臭をきらってわざわざ「かんせいがくいんだいがく」と読ませます。音読みは、呉音と漢音以外に、「暖簾」（のれん）「提灯」（ちょうちん）「行灯」（あんどん）「行脚」（あんぎゃ）「饅頭」（うどん）「蒲団」（ふとん）のような、中世以降に禪宗とともにもたらされた宋音（唐音とも）なども、日本ではいまなお後

生大事に使い分けています。古い読み方を捨てて新しい読み方に統一しないで、呉音と漢音、唐音・宋音を現代まで両立させているところも、「おばあちゃんのタンスの引き出し」文化ならではのべきでしょう。

- 伝世古と土中古
ひとの手から手へ大切に守られ受け継がれてきた古いものを「伝世古（でんせいこ）」といいます。日本では、仏教伝来以降およそ1500年間に伝世されたものを手から手へ受け継いできた歴史があります。これに対して、一度は否定されて打ち捨てられ、土の中や海の底に埋没していたものが、ある時代に掘り出されて再評価されたものを「土中古（どちゅうこ）」といいます。中国や中央アジア、ギリシア・ローマ、エジプトなどの古代の文物の大半がそうです。
- 「文化と文明」について考えてみましょう。
文化とは、「culture」、地面を耕すことが語源です。狩猟採集生活をしてたひとびとが土地に定着し農業を興し、そこでの暮らしから生まれる習慣やさまざまな営みの総体を文化といいます。ですから、文化は極めて土着的で限定的な人間集団の活動です。一方、文明とは「civilization」（都市化すること）です。土地に定着し農業を始めたひとびとによって、余剰品や特産品を物々交換するために往来が頻繁になって、道ができ市場を形成して徐々に町ができあがっていきます。すなわち都市化するわけです。特定の土地をはなれ、複数の文化にまたがる活発な交流を生み出し拡大して、異なった習慣や文化をもったひとたちが効率的に営める普遍性をもった社会システム（道路網、貨幣、交換レート、情報など）の総体が文明です。そして競争に勝った文化が、負けた文化を吸収して巨大化するのが文明の常でもあり、交流と紛争がつきものです。したがって、文化は内向的、文明は外向的ともいえるでしょう。
- 日本史の特殊性
〈日本は王朝の交代が一度もなかった。〉
ヤマト王朝（皇室）
伝承では125代。実在が確実とされる15代応神天皇（6世紀）以降王朝の交代や断絶がない。
デンマーク王国
965年ハーラル1世が国家を統一したとの記録。
英王室
1066年にフランスから上陸したノルマンディー公ウィリアムが王国を興して以来の王朝。
スペイン王室
1516年以来17代。
〈日本の王朝は血統による〉
神話に基づく神代の系譜を引く正当な「スメラミコト（神皇）」のみがわが国を統治する。
- 日本は仏教美術の宝庫
お隣の韓国は、李氏朝鮮時代に、儒教化政策のもとに徹底的な排仏政策を行い、古い寺院や仏像の大半が破壊されてしまい、一万箇寺あった仏教寺院が、なんと三十六箇寺にまでなってしまったという歴史を持っています。中国の仏教文化の華が開いた唐時代でしたが、空海が恵果阿闍梨から真言密教を伝授されて約四十年後に、武宗皇帝による道教擁護の政策に基づく「会昌の廃仏」（845）が行われて、それまでの仏教をはじめとする外来の宗教文化が徹底的に破壊されました。そして二十世紀になって、わずかに残っていた仏教文化財も、文化大革命の時代に徹底的に壊されてしまい、「伝世」（でんせい）したものはほんのわずかになっています。その点わが国は、仏教伝来以来およそ千五百年間に「伝世」した仏教美術が「おばあちゃんのタンスの引き出し」のように整理されている「宝庫」であることはまちがひありません。（要約文責宮下）

クラブ週報 宮下 文夫・小堀 彰・川上 鉄太郎
編集担当 落合 守征・左 明貴子・吉田 しおり



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB

東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30) 会場 帝国ホテル3F 舞の間
会長 椎野 登貴子 幹事 石原 忠始
事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F
TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271 <http://blog.livedoor.jp/chuoshin/>

2018-2019年度 国際ロータリーテーマ「インスピレーションになろう」

本日の例会 第716回 2018年10月1日(月)

✚ 銀座・日本橋グループ 福原有一ガバナー補佐訪問

例会報告 第714回 2018年9月3日(月)

出席率 67.27% 出席者33名+メーキャップ4名
(正会員59名・休会4名)

✚ 理事会だより

- 親睦旅行（日程2019年4月7日（日）～8日（月）バス旅行、アンケート予定）
- クリスマス例会（日程2018年12月11日（火）、内容は今後）
- 20周年行事（予算300万円枠、内容は今後）
- 決算承認（2017年度）
- ガバナー補佐訪問（10月1日（月）、クラブ協議会）及びガバナー公式訪問（10月18日（木）合同例会）
- ホームページ2017年度までの補正の完了（2018年度以降どうするか今後協議）

✚ 幹事報告（石原忠始幹事）

- 本日の配布物は、ロータリーの友9月号、ニューモラル、親睦旅行アンケートです。
- ガバナー補佐訪問10月1日（月）例会後のクラブ協議会、ガバナー公式訪問10月18日（木）東京中央RCと合同例会とそれぞれ決まりましたので、万障お繰り合わせの上ご出席下さい。
- 2019年4月7日（日）～8日（月）親睦旅行（場所未定）、10月3日（水）ファイヤーサイドミーティングと各日程が確定しましたので、よろしくお願い致します。
- 先月から集めていた西日本豪雨災害特別募金については、地区全体で790万円余が集まり、3地区に分割配分されたことをご報告致します。

✚ 育成園ガーデンパーティー報告（上野由美会員）

8月30日、育成園パーティーに出席しました。久しぶりに卒園者と会えたら、近くおめでたとのことで、日々の流れと確実な子ども達の成長を実感致しました。

✚ 青少年交換派遣生帰国報告・来日生歓迎会報告（時枝紀子地区委員長）

9月2日（日）代々木オリンピックセンターで素晴らしい交換留学生たちの報告会がありましたのでご報告致します。

（初参加 井関和美会員報告）

私も17年前、カナダに初めて留学したときすごく大変でしたが、海外や日本の優秀な子ども達がしっかり学んでコミュニケーションをとることで世界平和に貢献してくれれば素晴らしいことと思います。

✚ 9月のハッピーバースデー

石井本子会員（19日生れ）
大澤すずみ会員（6日生れ）
三木慶子会員（14日生れ）



✚ チャリティコンサートのご案内

（白水真子会員ご紹介の柴俊夫様）

こどものための柴基金後援で、10月26日（金）岡本知高、永田ジョージなど参加のチャリティコンサートが日本橋三井ホールで開かれます。参加費8,000円ですが、チャリティでこどものためのケアハウスを東京に建てたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

✚ ニコニコ

- 今週木曜日、東京中央RCにて、村松文彦（むらまつふみひこ）先生の卓話（アートフラワーデモンストレーション）があります。当クラブ村松南さんのご主人です。アートフラワー世界大会日本人唯一の金メダリストです！是非いらして下さい！！（東京中央RC住吉陽様）
- 篠原様、本日は卓話にいらして下さいありがとうございます。（白坂亜紀会員）
- 2750地区の2017～18年度青少年交換生8名、孫のような年齢の生徒さん達の素晴らしいスピーチに涙が出ました。（辻喜代子会員）
- ちびまる子ちゃんに心から、本当に心から哀悼の意を表します。沢山の笑いと、幸せをありがとうございました。（福元智子会員）

合計 8,000円 今期累計 107,000円



9月6日（木）
中央RCの例会の様子



卓話「どうなる?! 自民党総裁選」
政治解説者 篠原文也様



【プロフィール】
●1947年大分県生まれ。
早稲田大学政治経済学部卒業後、日本経済新聞社に入社。総理大臣官邸、自民党担当のキャップ、同社政治部次長、テレビ東京解説委員(政治コメンテーター)、キャスター、政治解説者として40年以上にわたり、政治をウォッチ。「篠原文也の直撃!ニッポン塾」主宰・塾長。
●独自の分析と洞察力にもとづく時流を読む眼には定評がある。細川政権をいち早く予測。福田政権の誕生を1年前から読み切り、的中させたことでも話題になった。細川非自民政権誕生の前から政界再編の必要性を説くなど、熱心な「政界再編」論者としても知られ、永田町では「ミスター政界再編」の異名を取る。
●最近は政治にとどまらず、メディア論、教育、観光、少子化問題の分野などでも発信を強めている。ホリプロ登録文化人。
政府の教育再生懇談会では、当時小学生の娘を持つ立場から、委員・主査として「子どもと携帯電話」「主権者教育」の問題に主導的に取り組んだ。特に「主権者教育」については、早くからその必要性を説いて回り、「18歳選挙権」が実現する中、今や「伝道師」的存在に。「子ども向け政策公約(マニフェスト)」作成の呼びかけ人でもある。
著書に、『日本の政治はこう変わる!』(PHP研究所)、『誰が日本を救うのか』(知知出版社)、『政界大変動』(PHP研究所)、「熱論!政界を再編せよ 偽りの二大政党」(同)など。

* * * * *

●昔のことですが、チャーチルは、酔っぱらったことを女性議員に「この酔っ払い、不謹慎」と議場で野次られたところ、「私の酔っ払いは一晩眠れば元に戻るが、あなたの不細工は一晩寝ても治らないじゃないか」と切り返し、議場の爆笑でケリを付けたそうです。
●現時点で、自民党総裁選では、安倍首相が圧倒的有利な地歩を固めており、今後どこかで安倍さん本人が廻りが大きな失言をしないかだけが気がかりなところ。
●石破さんはテレビ写りで損をしており、講演などで石破さんの生の声を初めて聞いた人は、「いい表情をしています。生き生きとして喋っていた」など好印象を示しています。
石破さんは、「怖い」と言われる顔を「なんとかならんか」と医者に相談したこともあります。「いじつたらもっと悪くなる」と言われて諦めたそうです。
●2012年総裁選で町村信孝さんは、当時細田派の会長として自ら出馬を準備していたのに、途中で安倍氏が根廻し不十分で先に出馬宣言してしまったことに怒っていたところ脳梗塞で倒れてしまい、出馬を諦めました。投票目前に「4人の候補者(安倍・石破・石原(伸)・林(芳))について、あんたの意見を聞きたい」と私が呼ばれ、私から「安倍じゃダメなのか」と問うと、「派閥の順を乱したあいつは許せない」とし、「石破と一緒に飯を食ったこともないから気心が知れない」などと言っていました。私は「あなたの派閥には清和会の長い流れがある

のだから清濁合わせ飲み安倍にまとめたら」と意見しました。投票では清和会から安倍支持に25票が流れ、それが効いて2012年の安倍政権成立に至ります。
●政権樹立後の安倍さんには、私から「総裁選では町村派の25票があなたに流れたから今ここに立ってられるのだよ。色々な立場の違いもあるだろうけど、人事で処遇しないとだめですよ」と釘を刺しました。
●又、石破さんには、「町村さんは誰を支持するかで相当悩んでいたから、あなたが食事でもして肝胆相照らす仲になっていれば、今頃総裁だったんだよ」と論じたところ、彼は「努力します、努力します」と言っていました。「ないものねだり」になるだろうなと思っています。
●今回、すでに国会議員の7割強が安倍さん支持となっており、石破さんは地方で頑張っている状態です。国会議員票と地方票合計810票のうち石破さんが240票を獲れば次に繋がるでしょうが、これを割り込むようだ過去の人になる恐れがありますね。
●安倍さんの4選はありませんから、9月20日総裁選が終わって安倍政権が成立した途端に次の総裁レースが始まることになります。
今のところ、岸田文雄(党政調会長)・河野太郎(外相)・小泉進次郎(党農林部会長)の3人が候補者と見られています。総票数の3割が当選の基礎票として必要となり、大変な道のりです。
●私は、岸田文雄さんへアドバイスとして、「富士山の登り口の正道は吉田口です」と言い、吉田茂氏の直系派閥である宏池会をまずしっかり固めるべきことを示唆しました。
●河野太郎さんは評判のいい人で、私は、彼が小学校6年生のころから、父河野洋平さんの別荘によく呼ばれて、彼とキャッチボールをして遊んでいましたが、彼が「篠原のおじさん」と呼ぶので、「篠原のお兄さんと呼べ」と論じたりしていたのです。
●小泉進次郎さんは気配りの人ですが、父小泉純一郎氏からのアドバイスはまったくなく、唯一「メディアに出すぎるな」とだけ言われているそうです。
メディアに呼ばれても3回は断って、4回目に出るようでないと、その動向が注目されるようにならないと。進次郎さんは、前回総裁選では開票後に石破さんに投票したことを明らかにしましたが、石破さんとしては党員票への影響を期待しているので、今回は進次郎さんが早い段階で一緒に演説するなどより投票日が迫った時点で一気に石破支持を表明してくれることでインパクトが強くなることを期待しているのです。
●進次郎さんは頭の良い人だから、石破さんが期待するとおりに動くことはないでしょうが、この9月8日に青山学院大学で講演が予定されており、そこで何を言うか、注目を集めているところです。

【質問】

●「選沢」という雑誌に、細川元首相が、「安倍には情がない」と書いていますが、どう思われますか?
(答) 私は情がないとは思わないですね。政治家として冷徹さと人情のバランスはとれていると思いますが、政治上の人事采配には情を入れる余地がなかったのだと思います。

(要約文責 宮下)

例会報告 第715回 2018年9月10日(月)
出席率 63.64% 出席者29名+メーキャップ6名
(正会員59名-休会4名)

幹事報告(石原忠始幹事)

- 本日の配布物は、理事会承認済の2017年度決算書です。
- 当クラブのクリスマス会は、12月18日(火)に単独開催と決定されましたので、追って詳細を配布致します。
- 今月の例会は本日が最後となり、次は10月1日です。この日の例会後のクラブ協議会にガバナー補佐が出席し講評を頂くことになっており、さらに10月18日(木)合同例会にガバナーが訪問されます(10月15日(月)例会は振替休み)ので、是非ご出席をお願い致します。
- 4月7日(日)8日(月)の親睦旅行についてアンケートを配布しましたので、ご回答お願い致します。
- ファイヤーサイドミーティングが10月3日(水)に決まっていますので、参加申込お待ちしております。
- 本日は初の試みとして「なだ万」のお弁当を手配しました。これについてもアンケートの回答をよろしくお願いします。
- 先日の北海道地震及び西日本豪雨被害に対する寄付を集めるためにBOXを廻しますので、よろしくお願い致します。



米山功労賞表彰(椎野登貴子会長)

米山記念奨学財団から、米山功労賞マルチプル表彰状が椎野会長に届きました。

9月のハッピーバースデー

吉田靖史会員
(22日生れ)



ニコニコ

- 先週は多数の会員の皆様にメーキャップして頂き、ありがとうございました。(東京中央RC 鷺秀正様)
- 先週は誕生日プレゼントありがとうございました。ニコニコします。(石井本子会員)
- 今日は藪内先生を御紹介します。仏像の世界ぜひ楽しんで下さい。すばらしい先生です!(かづきれいこ会員)
- 本日は、10月6～8日に開催されるRYLAにご参加する山井さんをご紹介できて嬉しいです。当クラブで

スポンサーするお2人のうちのお1人です。(時枝紀子会員)
●先週、中央ロータリーの卓話へ皆様お越し頂きありがとうございました。感謝を込めて。(村松南会員)
合計 13,000円 今期累計 120,000円

RYLAセミナー報告

(時枝紀子地区青少年奉仕委員長)
第15回RYLAセミナー(社会奉仕に熱心に取り組む20歳から30歳までの若者を対象とする集中研修プログラム)が、10月6日(土)～8日(日)まで代々木オリンピック青少年センターで開催されますので会員の皆様は是非出席して受講生のプレゼンテーションをお聴き届け下さい。

本日は、当クラブが先月理事会を経て「RYLAセミナー参加者」としてのスポンサーとなりました山井舜也さんがゲストに見えたので、ご紹介致します。

(RYLAセミナー参加者挨拶)

私は山井舜也といい、慶応大理工学部4年在学中ですが、先日貴クラブにセミナー参加のスポンサーになっていただきありがとうございました。

私は現在日中韓子ども童話交流参加経験者事務局において、事務局長を務めております。日中韓の小学生100人が、3カ国の仲間と世界に一つだけの絵本作りを行う、1週間の宿泊型交流というのが当事業の概略であり、15回目となる本年度は山形県で開催され、私は当事業を経て成長した大学生や社会人を集め3カ国のために何かできないか活動しています。毎年2月に東京に3カ国の同窓会を開催し、たくさんの国を超えた友情を生み出しております。そんな私が考えるリーダーシップとは、人と人の心をつなぐための最善の努力を惜しまないことです。国と国の関係を私たちに大きく変えることは難しいかもしれませんが、一人一人が国を超えて家族のように強い関係で繋がり、そうした関係がいつか一つに集まり、国と国を繋ぐ大きな絆となり、大きな奇跡を生み出すことを願い活動しております。

地区新会員オリエンテーション参加報告

当クラブ佐藤幸子新会員が、8月22日(水)に開催された「2018年度地区新会員オリエンテーション」に参加されました。

国立天文台見学報告(辻喜代子会員)

9月5日(水)、7月9日例会で「宇宙からの手紙」の卓話をいただきました日江井榮二郎先生のご案内で、三鷹の国立天文台を見学し、果てしない宇宙に想いを巡らせる機会を頂きました。

